

# ヒアリングによる生の声

## 企業等への緊急ヒアリングの概要

※今回、新たに実施

- ・実施期間：平成26年7月31日～8月12日
- ・実施件数：83箇所（道内各地域の主要産業に属する企業、酪農家、医療機関、消費者団体等）
- ・主な聞取事項：影響の具体的内容（○で表記）、北電・行政に対する意見、要望（●で表記）
- ・影響の区分：「大きく影響」>「影響がある」>「多少の影響」>「ほぼ影響はない」

## ◎製造業（機械、化学）の主な声

業種	企業等からの生の声
機械 影響：大きく影響	● 北電の再値上げに対しては、モノづくりの企業の立場から反対する。今回の再値上げは、北海道の企業にとって死活問題であり、廃業や北海道から撤退する企業も出てきかねない。
機械 影響：大きく影響	○ 製造過程においては、材料を加工する機械と材料を溶解する電気炉での使用が多い。また、精密な部品もあり、工場内の温度設定を一定にする冷暖房の使用も多い。 ○ 電気料のアップに伴い、原材料費や経費のアップも予想されるが、この分の価格転嫁は、他社との競争などのため難しい。
化学 影響：大きく影響	○ 電気分解によって生産している製品の比率が大きいですが、価格転嫁は非常に厳しい。製品によってはコスト競争力を完全に失い、輸入品に代替するリスクがある。 ● 前回の値上げから間隔が短すぎる上、値上げ幅が大きすぎる。夜間電力の値上げ幅が大きすぎるので、夜間電力の値上げ幅を圧縮して、昼間電力との価格差を維持していただきたい。

## ◎食産業（食品加工、酪農等）の主な声

食品加工 影響：大きく影響	○ 原材料費、重油等のエネルギー費、運送費の上昇、最低賃金の引き上げによる人件費などの上昇、更に2回もの電力値上げが重なり、原価が極端にアップし、大変な思いをしている。
農産加工 影響：影響がある	○ 選果場・調整工場など、電気消費が大きい設備が多数稼働（選果場及び貯蔵庫で63%の電気を消費）。貯蔵庫などの設備の節電は業務上困難。
水産加工 影響：大きく影響	○ 電気を使用して製造する氷については価格転嫁するが、事務所等の電気料金については、価格転嫁はできないために、経営が苦しくなる。
酪農 影響：大きく影響	○ 牛舎の照明、搾乳、糞尿の排出など全て電力であり、代替不可能。既に牛舎の照明をLED化し、これ以上の節電は困難。

## ◎サービス業・卸小売業・建設業・運輸業等の主な声

情報通信 影響：影響がある	● 現在以上の値上げとなりますと、電気料金の安い地域を選んで施設を建設した意味がなくなるため、今後の設備の増設や新規建設など、北海道以外の他地域を検討せざるを得ないと考えております。
ホテル旅館 影響：影響がある	○ 温泉等のポンプの動力と客室の冷暖房設備は、これ以上節電することは難しい。その他に照明と厨房の冷蔵庫冷凍庫も電気を大量に使う。 ○ 照明はLEDに換えたいが、ホテルの雰囲気とマッチしないため交換できない。
クリーニング 影響：影響がある	○ 電気消費の大きいクリーニング設備が多数稼働しており、業務上、設備の節電は困難。
医療 影響：影響がある	○ 照明設備が多数あり、空調設備も長時間稼働しているため、値上げにより電気料が増加する。 ○ 診療報酬で診察料金が決まっているため、電気料金の値上げ分は価格に転嫁できない。
小売 影響：大きく影響	○ 調剤部門に関しては、薬剤は価格が決まっており、電気代が上がったからといって、価格に上乘せすることは不可能。
建設 影響：多少の影響	○ 影響としては、管理費用の増加（空調、照明）。 ● 公共的料金については、国等が内容を精査し、妥当かどうか適正に判断していただきたい。
運輸 影響：大きく影響	○ 冷蔵庫、穀物サイロ等、電気消費が大きい設備が多数稼働している。

## ◎消費者団体等の主な声

消費者団体等	○ 4月からの消費税の負担増と合わせてダブルパンチとなり、道民生活や経済活動に深刻な影響を与えることは必至。 ○ 年金に頼っている高齢者の経済生活は、病院代や薬代という負担があり、17%もの再値上げは私たちの生活に多大な影響を与えます。
--------	---